



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日  
上場取引所 東

上場会社名 日特建設株式会社

コード番号 1929 URL <http://www.nittoc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中森 保

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経理部長

(氏名) 平山 雅博

TEL 03-3542-9123

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,218	3.1	△164	—	△214	—	△202	—
25年3月期第2四半期	19,608	3.8	△198	—	△273	—	△308	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △135百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △337百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△4.75	—
25年3月期第2四半期	△7.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	37,018	14,636	39.5	343.65
25年3月期	39,111	15,029	38.4	352.84

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 14,636百万円 25年3月期 15,029百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,200	1.8	1,980	△18.8	1,850	△17.8	810	△77.2	19.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	43,919,291株	25年3月期	43,919,291株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,326,788株	25年3月期	1,325,180株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	42,593,372株	25年3月期2Q	43,239,237株

当社は、平成24年10月1日付で普通株式4株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度期首に当該株式併合が行われたものと仮定し、期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は完了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

当社は、平成24年10月1日付で普通株式4株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度期首に当該株式併合が行われたものと仮定し、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産を算出しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	10
受注高（連結）の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策及び日銀の金融緩和策による円安や株高の進行により、輸出企業を中心に業績の改善が見られ、また景気回復への期待感から個人消費などにも力強さが見られるようになりました。しかしながら実体経済への波及にはまだ時間がかかるとみられることや、中国の経済成長鈍化懸念などがあり、依然として不透明な状況で推移しました。

建設業界におきましては、民間設備投資については、一部に持ち直しの傾向が見られるようになってきました。一方、公共建設投資については、他社との激しい受注競争が続く環境下にはありますが、復興事業の進展や政府の経済対策に伴う公共工事の増加により、堅調に推移しました。

このような事業環境において、当社グループは、中期経営計画StepⅡ（平成23年度～平成25年度）のもと、営業力強化と組織力強化を事業戦略の柱に据え、激変する建設市場でも確かな収益力を背景に安定した経営基盤を構築し、将来の成長戦略への転換に向けた準備を進め、最終年度となる本年度は、これまで実施してきた諸施策の充実、定着を図っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

#### ① 受注高、売上高

受注高は、当社が得意とするのり面工事の増加、岩手県大槌町の大型復興工事の受注などにより35,955百万円（前年同四半期比32.6%増）となりました。売上高は、ほぼ前年並みの20,218百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

#### ② 損益

海外事業の体制強化、営業強化による人員増の実施、BCP（事業継続計画）の一環として営業拠点の移転等により販売費および一般管理費は増加しましたが、売上総利益の増加により、営業損失は164百万円（前年同四半期は営業損失198百万円）、経常損失は214百万円（前年同四半期は経常損失273百万円）となり、四半期純損失は202百万円（前年同四半期は四半期純損失308百万円）と、前年同四半期と比較し、改善しました。

当社グループの売上高は、通常の受注形態として第3四半期以降に完成する工事の割合が大きく、業績に季節的変動があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が37,018百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,093百万円減少しております。これは主に、現金預金が487百万円、未成工事支出金が2,024百万円、未収消費税（その他）が397百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が5,087百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、22,381百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,700百万円減少しております。これは主に、未成工事受入金が2,055百万円増加し、支払手形・工事未払金等が2,589百万円、未払消費税（その他）が525百万円、長期借入金が200百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は14,636百万円となり、前連結会計年度末に比べ392百万円減少しております。これは主に、当第2四半期連結累計期間が202百万円の純損失となったこと、255百万円の配当を実施したことによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローの状況は、営業活動の結果獲得した資金は1,032百万円（前年同四半期連結累計期間は2,151百万円の獲得）、投資活動の結果使用した資金は81百万円（前年同四半期連結累計期間は126百万円の使用）、財務活動の結果使用した資金は463百万円（前年同四半期連結累計期間は955百万円の使用）となった結果、現金及び現金同等物は487百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、12,620百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、1,032百万円となりました。

これは主に、売上債権の減少（5,087百万円）、未成工事受入金の増加（2,055百万円）により資金が増加する一方、未成工事支出金の増加（2,024百万円）、未収消費税（その他の資産）の増加（397百万円）、仕入債務の減少（2,589百万円）、未払消費税（その他の負債）の減少（525百万円）により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、81百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による資金の減少83百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、463百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済(200百万円)、配当金の支払(251百万円)により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日に公表いたしました業績予想につきましては、変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	12,132	12,620
受取手形・完成工事未収入金等	14,684	9,597
商品及び製品	25	26
販売用不動産	0	0
未成工事支出金	1,573	3,597
材料貯蔵品	142	133
繰延税金資産	837	912
その他	231	586
貸倒引当金	△16	△10
流動資産合計	29,611	27,463
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,074	1,058
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	268	268
土地	5,340	5,340
リース資産(純額)	33	28
建設仮勘定	0	—
その他(純額)	2	2
有形固定資産合計	6,720	6,698
無形固定資産	206	205
投資その他の資産		
投資有価証券	566	670
繰延税金資産	1,583	1,576
その他	582	522
貸倒引当金	△159	△118
投資その他の資産合計	2,572	2,651
固定資産合計	9,499	9,555
資産合計	39,111	37,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	13,232	10,642
短期借入金	400	400
未成工事受入金	2,206	4,261
リース債務	22	21
完成工事補償引当金	25	18
工事損失引当金	32	122
賞与引当金	414	289
その他	1,726	881
流動負債合計	18,058	16,638
固定負債		
長期借入金	1,600	1,400
リース債務	53	42
繰延税金負債	70	106
退職給付引当金	4,034	4,062
その他	266	131
固定負債合計	6,023	5,743
負債合計	24,082	22,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,052	6,052
資本剰余金	2,022	2,022
利益剰余金	7,366	6,909
自己株式	△539	△539
株主資本合計	14,902	14,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	193
その他の包括利益累計額合計	126	193
純資産合計	15,029	14,636
負債純資産合計	39,111	37,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高		
完成工事高	19,552	20,091
その他の事業売上高	55	126
売上高合計	19,608	20,218
売上原価		
完成工事原価	17,348	17,856
その他の事業売上原価	25	68
売上原価合計	17,373	17,924
売上総利益		
完成工事総利益	2,203	2,235
その他の事業総利益	30	58
売上総利益合計	2,234	2,293
販売費及び一般管理費	2,433	2,458
営業損失(△)	△198	△164
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	5	7
特許関連収入	11	11
その他	8	7
営業外収益合計	27	27
営業外費用		
支払利息	50	28
支払保証料	37	34
その他	14	14
営業外費用合計	102	76
経常損失(△)	△273	△214
特別利益		
固定資産売却益	30	3
特別利益合計	30	3
特別損失		
固定資産除却損	3	1
特別損失合計	3	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△246	△212
法人税、住民税及び事業税	61	58
法人税等調整額	—	△67
法人税等合計	61	△9
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△308	△202
四半期純損失(△)	△308	△202



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△308	△202
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△29	66
その他の包括利益合計	△29	66
四半期包括利益	△337	△135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△337	△135

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△246	△212
減価償却費	85	94
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△46
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	10	△7
工事損失引当金の増減額(△は減少)	22	90
賞与引当金の増減額(△は減少)	△80	△124
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△34	28
受取利息及び受取配当金	△7	△7
支払利息	50	28
有形固定資産売却損益(△は益)	△30	△3
有形固定資産除却損	3	1
売上債権の増減額(△は増加)	6,366	5,087
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△2,761	△2,024
その他の資産の増減額(△は増加)	△110	△286
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,159	△2,589
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,567	2,055
その他の負債の増減額(△は減少)	△409	△841
小計	2,249	1,241
利息及び配当金の受取額	7	7
利息の支払額	△52	△28
法人税等の支払額	△53	△188
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,151	1,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△127	△83
有形固定資産の売却による収入	30	3
投資有価証券の取得による支出	△1	△0
無形固定資産の取得による支出	△27	—
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△300	△200
リース債務の返済による支出	△12	△11
自己株式の取得による支出	△470	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△171	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△955	△463
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,069	487
現金及び現金同等物の期首残高	9,163	12,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,232	12,620

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、当社及び連結子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっています。

当社グループは、建設事業のほかに、商品資材販売事業、及び保険代理業の事業活動を展開していますが、それらは開示情報としての重要性に乏しく、建設事業の単一セグメントとなるため記載を省略しています。

## 4. 補足情報

受注高(連結)の状況

(単位:百万円)

区 分	前第2四半期累計期間 自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日		当第2四半期累計期間 自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日		増 減	
	金額	比率(%)	金額	比率(%)	金額	増減率(%)
基礎	24,933	92.0	33,517	93.2	8,584	34.4
土木	1,960	7.2	1,971	5.5	10	0.5
地質コンサルタント	165	0.6	340	0.9	174	105.5
その他	55	0.2	126	0.4	70	126.7
計	27,115	100.0	35,955	100.0	8,840	32.6